

1) 産業歯科保健における口腔清掃について

入江 舞

(大阪産業保健推進センターH20年3月6日の講演から一部抜粋)

メタボリックシンドロームに代表される高血圧症、糖尿病、高脂血症や肥満などの生活習慣病が注目をされています。生活習慣病とは日常の悪い生活習慣が継続することで発症または進行します。

歯周病も口腔の清掃という生活習慣を怠ることで進行する生活習慣病です。特に糖尿病などに罹患している人は悪化しやすく注意が必要です。

歯周病だけでなく口腔内の疾患の治療において口腔の清掃は重要です。初期の歯周病では生活習慣を改善し、清掃を徹底すれば治ることもあります。

むし歯や歯周病などの疾患を放置すれば、作業効率や意欲の低下につながります。また、病気の進行によっては口臭や発音などにも障害を及ぼし、職場の対人関係を損なう原因になります。

今回は口腔清掃のポイントについて、フロスや歯間ブラシなどの清掃器具の使用方法も含めて説明します。

2) 歯周病治療におけるプロビジョナルレストレーションの重要性について

橋本 健司

プロビジョナルレストレーション (Provisional restoration) は患者さん用語では仮歯、いわゆるテンポラリークラウン (Temporary Crown) と同じものです。

テック (Temporary Crown) は一時的な“見た目”の回復や咬合維持として使用されているものですが、プロビジョナルレストレーションはそれだけでなく最終補綴物を見越した準備段階の設計図ともいえる重要な補綴物です。

材料は簡単に追加や削合が可能なユニファーストなどの即時重合レジンが一般に使用されています。強度が必要な場合にはメタルで作成することもあります。審美的な要素が高い前歯部など、最終補綴物の形態を患者さんが満足いくように、形態修正を行いながら治療を進めます。

歯科技工士は、患者さんや術者の意図を考慮しながらプロビジョナルレストレーションを作成・調整し、最終補綴物の指標とします。

歯周病科ではこのプロビジョナルレストレーションはさらに重要な意味を持ちます。歯周治療では清掃性はきわめて重要な要素であり、清掃器具の到達の妨げにならない様に、最終補綴物の歯肉粘膜との接触部、マージン部を仕上げる必要があります。それら細部の情報を事前にプロビジョナルレストレーションから得ることが出来ます。

今回はプロビジョナルレストレーションの目的と歯周病科における重要性について発表します。

3) 受付および電話での患者さんへの対応について

藤田 絵美

多くの患者さんは、治療について不安や悩みを持って来院されます。そのような患者さんが初めて接するのが受付です。受付や電話で対応する者は、医院の代表として接していることを忘れてはなりません。

患者さんには丁寧な態度で接し、大きな声ではっきりと話すことが大切です。

患者さんを“患者様”と呼び、言葉だけが丁寧であってもよい診療所とは言えません。患者さんは病気を治しに来られているのであって高級ホテルにお茶を飲みに来られているわけではありません。丁寧であれば良いというものではありません。治療に入れば、時には患者さんを激励し、指導することも出てきます。患者さんの病気を治すためには、必要な検査や治療方法を患者さんに理解してもらわねばなりません。そのためには、分かりやすく説明できる知識と話し方を覚える必要があります。

我々は患者さんの治療がスムーズに進むように心がけ、いろいろな場面での対応を学ばねばなりません。

今回は受付および電話の対応を中心に、その対応について発表します。

#### 4) 歯周治療における動機づけとプラークコントロールの重要性について

河合 貴子

歯周治療においては動機づけとプラークコントロールが大切です。最近では、プラークコントロールという言葉はCMなどでもよく使われ、世間にも広く知られるようになってきました。歯周治療は“清掃器具の細菌の増殖部位への到達を高める治療”ですから、このプラークコントロールを確立することが一番大切です。そして、このこのプラークコントロールの大切さを患者さんに理解してもらうことが必要です。これが“動機づけ”です。

患者さんが、歯周治療を希望されてもこの動機づけがうまく行かなければ、プラークコントロールを怠り、治療はスムーズに進みません。では、“動機づけ”はどうすれば上手くいくのでしょうか。歯科衛生士や関係者であれば誰でも知りたいのではないのでしょうか。

PCR (Plaque Control Record) や精密検査の結果は、患者さんにとっては大変興味深いものですから、動機づけの一手段として有効です。

歯周病科では、実際に治療が開始されれば治療期間は1年を超えることもあります。また費用もかかりますし、手術が必要になることもあります。“頑張っ通院して歯周病を治そう”という患者さん自身の強い意思が必要です。

動機づけを成功させる一番のポイントは患者さんの意思を確認することです。

治療に入る前に患者さんが歯周治療を行うかどうかの意思を確認しておくことが大切です。治療を望まれる患者さんに動機づけを行い、プラークコントロールとは、単なるブラッシングではなく自身の口腔内を自分で正しく管理し、歯周病の進行を抑制する行為であり事を認識してもらうことが大切です。